

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2024年6月14日まで（2014年8月18日設定）	
運用方針	<p>アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、各マザーファンド受益証券への投資割合は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>アセアン通貨の中で複数の通貨（以下「対象通貨」といいます。）に分散投資を行い、各対象通貨の配分は概ね均等とすることを基本とします。なお、アセアン諸国の投資環境等に応じて、対象通貨の見直しまたは通貨の配分を変更することがあります。</p> <p>運用にあたっては、実質組入米ドル建て資産に対して、原則として米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。（このため、基準価額はすべての対象通貨の対円で為替変動の影響を受けます。）</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アセアン社債ファンド （毎月決算型）



第71期（決算日：2020年7月15日）
 第72期（決算日：2020年8月17日）
 第73期（決算日：2020年9月15日）
 第74期（決算日：2020年10月15日）
 第75期（決算日：2020年11月16日）
 第76期（決算日：2020年12月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アセアン社債ファンド（毎月決算型）」は、去る12月15日に第76期の決算を行いましたので、法令に基づいて第71期～第76期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 債 純	組 入 先 物 総	比 率	資 産 額
	(分配落)	税 込 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	百万円	
47期(2018年7月17日)	9,711	25	△ 0.3	93.7	—	762	
48期(2018年8月15日)	9,612	25	△ 0.8	93.7	—	713	
49期(2018年9月18日)	9,539	25	△ 0.5	93.5	—	693	
50期(2018年10月15日)	9,508	25	△ 0.1	94.5	—	680	
51期(2018年11月15日)	9,676	25	2.0	91.5	—	691	
52期(2018年12月17日)	9,720	25	0.7	92.3	—	686	
53期(2019年1月15日)	9,595	25	△ 1.0	91.1	—	678	
54期(2019年2月15日)	9,973	25	4.2	90.6	—	706	
55期(2019年3月15日)	10,154	25	2.1	91.7	—	715	
56期(2019年4月15日)	10,292	25	1.6	89.4	—	703	
57期(2019年5月15日)	9,993	25	△ 2.7	92.2	—	670	
58期(2019年6月17日)	10,114	25	1.5	91.2	—	670	
59期(2019年7月16日)	10,321	25	2.3	91.5	—	675	
60期(2019年8月15日)	10,031	25	△ 2.6	92.4	—	655	
61期(2019年9月17日)	10,335	25	3.3	90.3	—	673	
62期(2019年10月15日)	10,445	25	1.3	88.6	—	664	
63期(2019年11月15日)	10,557	25	1.3	88.0	—	668	
64期(2019年12月16日)	10,678	25	1.4	89.1	—	669	
65期(2020年1月15日)	10,857	25	1.9	88.2	—	671	
66期(2020年2月17日)	10,747	25	△ 0.8	90.2	—	661	
67期(2020年3月16日)	9,601	25	△10.4	92.3	—	586	
68期(2020年4月15日)	8,897	25	△ 7.1	87.5	—	540	
69期(2020年5月15日)	9,260	25	4.4	88.8	—	557	
70期(2020年6月15日)	9,950	25	7.7	88.8	—	597	
71期(2020年7月15日)	9,973	25	0.5	91.1	—	585	
72期(2020年8月17日)	10,255	25	3.1	88.9	—	601	
73期(2020年9月15日)	10,165	25	△ 0.6	89.3	—	592	
74期(2020年10月15日)	10,198	25	0.6	90.9	—	578	
75期(2020年11月16日)	10,364	25	1.9	89.8	—	571	
76期(2020年12月15日)	10,546	25	2.0	89.6	—	560	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第71期	(期 首) 2020年6月15日	円 9,950		% —	% 88.8		% —
	6月末	10,090		1.4	88.8		—
	(期 末) 2020年7月15日	9,998		0.5	91.1		—
第72期	(期 首) 2020年7月15日	9,973		—	91.1		—
	7月末	9,989		0.2	89.2		—
	(期 末) 2020年8月17日	10,280		3.1	88.9		—
第73期	(期 首) 2020年8月17日	10,255		—	88.9		—
	8月末	10,211		△0.4	88.3		—
	(期 末) 2020年9月15日	10,190		△0.6	89.3		—
第74期	(期 首) 2020年9月15日	10,165		—	89.3		—
	9月末	10,102		△0.6	89.6		—
	(期 末) 2020年10月15日	10,223		0.6	90.9		—
第75期	(期 首) 2020年10月15日	10,198		—	90.9		—
	10月末	10,059		△1.4	90.9		—
	(期 末) 2020年11月16日	10,389		1.9	89.8		—
第76期	(期 首) 2020年11月16日	10,364		—	89.8		—
	11月末	10,430		0.6	89.1		—
	(期 末) 2020年12月15日	10,571		2.0	89.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

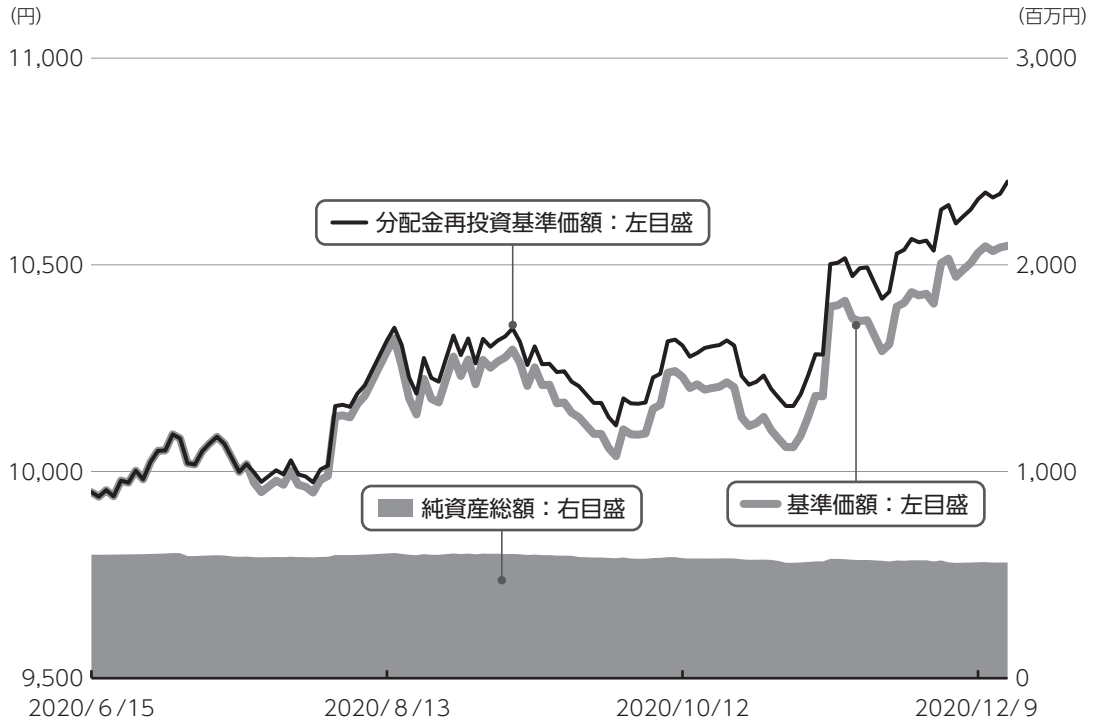
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第71期～第76期：2020年6月16日～2020年12月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第71期首	9,950円
第76期末	10,546円
既払分配金	150円
騰落率	7.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因**上昇要因**

債券利子収入を享受したことや、社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小して債券価格が上昇したこと、対象通貨（アセアン通貨の中の複数の通貨（以下「対象通貨」））（インドネシアルピア、マレーシアリングット、フィリピンペソ、シンガポールドル、タイバーツ）のうち、マレーシアリングット、フィリピンペソ、シンガポールドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

対象通貨のうちインドネシアルピア、タイバーツが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
アセアン投資適格社債マザーファンド	2.7%	46.9%
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	5.6%	48.5%

第71期～第76期：2020年6月16日～2020年12月15日

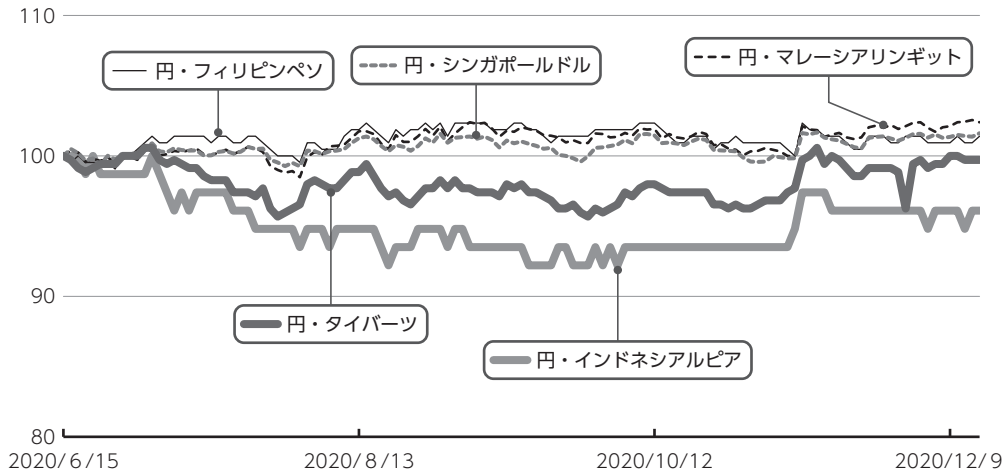
投資環境について

▶ 社債市況 アセアン投資適格社債市況、アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が上昇したものの、社債の спреッドが縮小したことなどから上昇しました。

米国では、当作成期首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係の悪化に対する懸念などから、米国金利は低下しました。その後、米連邦準備制度理事会（F R B）による平均インフレ目標の導入による期待インフレの上昇、世界的に堅調な株式市場や新型コロナウイルスワクチン開発進展の報道による投資家のリスクセンチメント改善などを受け、米国金利は上昇しました。当作成期を通じてみると、米国金利は上昇しました。

社債の спреッドは、当作成期首から2020年8月までF R Bが社債買入の期限を延長したことなどを受けて、縮小基調を辿りました。9月以降は米国の追加経済対策の協議難航に対する懸念や社債市場の需給悪化などから、一時的に спреッドが拡大する局面があったものの、その後11月の米国大統領選の大勢判明とワクチン開発進展の報道を受けて、 спреッドは再び縮小しました。当作成期を通じてみると、社債の спреッドは縮小しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況 アセアン各国通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

マレーシアリングgit、フィリピンペソ、シンガポールドルは世界的に堅調な株式市場や中国景気の回復が投資家に好感されたことなどから、対円で上昇しました。一方、インドネシアでは国内の新型コロナウイルスの感染拡大、タイでは新型コロナウイルス感染による観光客の減少などを受けて、当作成期首から2020年10月頃までインドネシアルピアとタイバーツは対円で下落基調を辿りました。その後、米国大統領選の大勢判明と新型コロナウイルスワクチン開発進展の報道を受けて、インドネシアルピアとタイバーツは上昇しました。結果、当作成期を通じ

てみると、マレーシアリングgit、フィリピンペソ、シンガポールドルは対円で上昇し、インドネシアルピア、タイバーツは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンドおよびアセアン・ハイイールド社債マザーファンドにそれぞれ純資産総額の50%程度の投資を維持しました。

また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引（NDF）等を行い、各対象通貨の配分は概ね均等を維持しました。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへの多めの配分を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第71期 2020年6月16日～ 2020年7月15日	第72期 2020年7月16日～ 2020年8月17日	第73期 2020年8月18日～ 2020年9月15日	第74期 2020年9月16日～ 2020年10月15日	第75期 2020年10月16日～ 2020年11月16日	第76期 2020年11月17日～ 2020年12月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 (0.250%)	25 (0.243%)	25 (0.245%)	25 (0.245%)	25 (0.241%)	25 (0.236%)
当期の収益	25	25	21	25	25	25
当期の収益以外	—	—	3	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,314	1,329	1,326	1,331	1,343	1,351

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティが高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターおよび生活必需品セクターへの配分を多めとする方針です。

2020年6月16日～2020年12月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第71期～第76期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	86	0.849	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(42)	(0.413)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(42)	(0.413)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.016	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	88	0.865	

作成期中の平均基準価額は、10,184円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

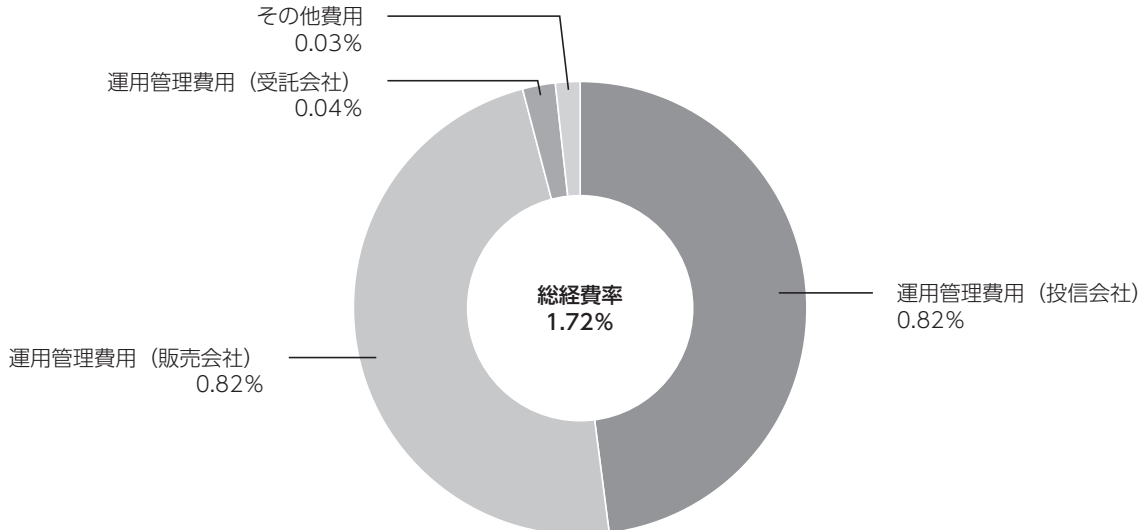
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.72%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

スワップ及び先渡取引状況

種 類	第71期～第76期	
	取 引	契 約 金 額
直物為替先渡取引		百万円 1,003

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第71期～第76期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセアン投資適格社債マザーファンド	千口 2,722	千円 4,000	千口 16,284	千円 23,500
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	—	—	20,351	29,000

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月15日)

利害関係人との取引状況

<アセアン社債ファンド（毎月決算型）>

区 分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,363	百万円 426	% 31.3	百万円 1,370	百万円 434	% 31.7
為替直物取引	—	—	—	22	10	45.5

<アセアン投資適格社債マザーファンド>

区 分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 21	百万円 21	% 100.0

平均保有割合 31.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<アセアン・ハイイールド社債マザーファンド>

区 分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 33	百万円 24	% 72.7

平均保有割合 32.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

スワップ及び先渡取引残高

種 類	取 引 契 約 残 高	
	第76期末想定元本額	
直物為替先渡取引	百万円 323	

親投資信託残高

銘 柄	第70期末		第76期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アセアン投資適格社債マザーファンド	千口 193,778	千口 180,216	千口 180,216	千円 262,395
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	206,213	185,862	185,862	271,619

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項 目	第76期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセアン投資適格社債マザーファンド	262,395	46.5
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	271,619	48.2
コール・ローン等、その他	30,055	5.3
投資信託財産総額	564,069	100.0

- (注) アセアン投資適格社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（841,665千円）の投資信託財産総額（855,088千円）に対する比率は98.4%です。
- (注) アセアン・ハイイールド社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（873,130千円）の投資信託財産総額（886,844千円）に対する比率は98.5%です。
- (注) 作成期末における外貨建純資産（10,246千円）の投資信託財産総額（564,069千円）に対する比率は1.8%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.12円			
------------------	--	--	--

○特定資産の価格等の調査

(2020年6月16日～2020年12月15日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	18

当作成期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
	2020年7月15日現在	2020年8月17日現在	2020年9月15日現在	2020年10月15日現在	2020年11月16日現在	2020年12月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,042,158,134	1,055,919,969	1,055,899,375	1,035,822,212	1,019,356,419	1,001,912,369
コール・ローン等	19,144,335	20,851,386	15,882,480	16,746,571	15,260,415	18,567,268
アセアン投資資格社債マザーファンド(評価額)	279,718,863	284,970,253	284,119,582	278,953,070	271,911,526	262,395,858
アセアン・ハイールド社債マザーファンド(評価額)	285,523,119	293,730,413	290,545,896	281,459,853	276,628,228	271,619,086
未収入金	457,771,817	456,367,917	465,351,417	458,662,718	455,556,250	449,330,157
(B) 負債	456,434,904	454,315,889	462,952,788	457,038,948	447,573,194	441,868,234
未払金	454,063,235	451,939,578	460,670,285	454,804,565	441,848,401	437,867,913
未払収益分配金	1,468,214	1,466,681	1,458,245	1,418,899	1,379,217	1,327,592
未払解約金	70,763	311	15,363	438	3,495,791	1,910,468
未払信託報酬	830,434	906,826	806,694	812,834	847,475	760,188
未払利息	5	26	12	4	9	10
その他未払費用	2,253	2,467	2,189	2,208	2,301	2,063
(C) 純資産総額(A-B)	585,723,230	601,604,080	592,946,587	578,783,264	571,783,225	560,044,135
元本	587,285,720	586,672,593	583,298,393	567,559,637	551,687,109	531,036,941
次期繰越損益金	△ 1,562,490	14,931,487	9,648,194	11,223,627	20,096,116	29,007,194
(D) 受益権総口数	587,285,720口	586,672,593口	583,298,393口	567,559,637口	551,687,109口	531,036,941口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,973円	10,255円	10,165円	10,198円	10,364円	10,546円

○損益の状況

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 499	△ 323	△ 556	△ 173	△ 266	△ 220
受取利息	42	6	1	—	—	4
支払利息	△ 541	△ 329	△ 557	△ 173	△ 266	△ 224
(B) 有価証券売買損益	3,139,862	16,223,913	△ 4,843,121	2,332,107	4,623,686	8,761,942
売買益	10,803,216	18,739,794	3,266,729	4,857,782	7,326,291	12,054,372
売買損	△ 7,663,354	△ 2,515,881	△ 8,109,850	△ 2,525,675	△ 2,702,605	△ 3,292,430
(C) 先物取引等取引損益	535,484	2,653,368	1,913,516	1,741,279	6,797,513	2,986,060
取引益	3,042,868	4,491,437	3,518,032	2,607,222	7,020,349	3,120,253
取引損	△ 2,507,384	△ 1,838,069	△ 1,604,516	△ 865,943	△ 222,836	△ 134,193
(D) 信託報酬等	△ 835,942	△ 920,053	△ 808,883	△ 816,640	△ 854,487	△ 763,823
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	2,838,905	17,956,905	△ 3,739,044	3,256,573	10,566,446	10,983,959
(F) 前期繰越損益金	△31,722,177	△30,274,208	△13,686,925	△18,349,822	△16,034,377	△ 6,570,826
(G) 追加信託差損益金	28,788,996	28,715,471	28,532,408	27,735,775	26,943,264	25,921,653
(配当等相当額)	(54,928,238)	(54,905,609)	(54,621,344)	(53,178,758)	(51,714,654)	(49,845,426)
(売買損益相当額)	(△26,139,242)	(△26,190,138)	(△26,088,936)	(△25,442,983)	(△24,771,390)	(△23,923,773)
(H) 計(E+F+G)	△ 94,276	16,398,168	11,106,439	12,642,526	21,475,333	30,334,786
(I) 収益分配金	△ 1,468,214	△ 1,466,681	△ 1,458,245	△ 1,418,899	△ 1,379,217	△ 1,327,592
次期繰越損益金(H+I)	△ 1,562,490	14,931,487	9,648,194	11,223,627	20,096,116	29,007,194
追加信託差損益金	28,788,996	28,715,471	28,532,408	27,735,775	26,943,264	25,921,653
(配当等相当額)	(54,929,481)	(54,907,389)	(54,622,694)	(53,180,229)	(51,715,723)	(49,848,344)
(売買損益相当額)	(△26,140,485)	(△26,191,918)	(△26,090,286)	(△25,444,454)	(△24,772,459)	(△23,926,691)
分配準備積立金	22,288,003	23,072,525	22,729,174	22,375,309	22,378,330	21,946,804
繰越損益金	△52,639,489	△36,856,509	△41,613,388	△38,887,457	△29,225,478	△18,861,263

(注) (B) 有価証券売買損益および(C) 先物取引等取引損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 600,450,235円
 作成期中追加設定元本額 5,315,530円
 作成期中一部解約元本額 74,728,824円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0546円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
費用控除後の配当等収益額	1,716,522円	2,307,955円	1,277,359円	1,708,227円	2,029,660円	1,799,155円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	54,929,481円	54,907,389円	54,622,694円	53,180,229円	51,715,723円	49,848,344円
分配準備積立金額	22,039,695円	22,231,251円	22,910,060円	22,085,981円	21,727,887円	21,475,241円
当ファンドの分配対象収益額	78,685,698円	79,446,595円	78,810,113円	76,974,437円	75,473,270円	73,122,740円
1万口当たり収益分配対象額	1,339円	1,354円	1,351円	1,356円	1,368円	1,376円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	1,468,214円	1,466,681円	1,458,245円	1,418,899円	1,379,217円	1,327,592円

○分配金のお知らせ

	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

アセアン投資適格社債マザーファンド

《第13期》決算日2020年12月15日

[計算期間：2020年6月16日～2020年12月15日]

「アセアン投資適格社債マザーファンド」は、12月15日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてBBB-格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりBBB-格相当以上の格付けを付与されているものに限ります。デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2018年12月17日)	12,933		3.5	93.7	—	970
10期(2019年6月17日)	13,503		4.4	95.5	—	914
11期(2019年12月16日)	14,256		5.6	90.1	—	930
12期(2020年6月15日)	14,181		△0.5	96.0	—	853
13期(2020年12月15日)	14,560		2.7	96.7	—	855

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2020年6月15日	円 14,181	% —	% 96.0
6月末	14,382	1.4	95.9
7月末	14,396	1.5	95.7
8月末	14,457	1.9	95.2
9月末	14,476	2.1	95.3
10月末	14,307	0.9	95.8
11月末	14,469	2.0	95.9
(期 末) 2020年12月15日	円 14,560	% 2.7	% 96.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

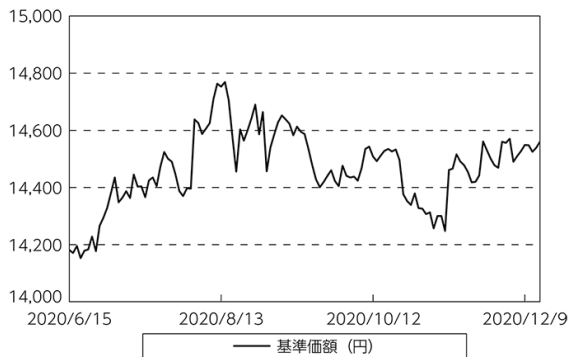
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことや、社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小して債券価格が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎アセアン投資適格社債市況

- ・アセアン投資適格社債市況は、米国金利が上昇したものの、社債のスプレッドが縮小したことなどから上昇しました。
- ・米国では、期首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大や米中間味の悪化に対する懸念などから、米国金利は低下しました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）による平均インフレ目標の導入による期待インフレの上昇、世界的に堅調な株式市場や新型コロナウイルスワクチン開発進展の報道による投資家のリスクセンチメント改善を受け、米

国金利は上昇しました。期を通じてみると、米
国金利は上昇しました。

- ・社債のスプレッドは、期首から2020年8月までFRBが社債買入の期限を延長したことなどを
受けて、縮小基調を辿りました。9月以降は米
国の追加経済対策の協議難航に対する懸念や社
債市場の需給悪化などから、一時的にスプレッ
ドが拡大する局面があったものの、その後11月
の米国大統領選の大勢判明とワクチン開発進展
の報道を受けて、スプレッドは再び縮小しまし
た。期を通じてみると、社債のスプレッドは縮
小しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、米ドルは対円で下落しました。期
首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナ
ウイルスの感染拡大や米中関係の悪化に対する
懸念などから、米ドルは対円で軟調となりました。
その後、9月中旬にかけて、米国における
新型コロナウイルス新規感染者数増加の鈍化な
どを受けて米ドルは対円で上昇したものの、長
期的な米ドル安を見込むポジションが積み上が
る中、徐々に対円で軟調に推移しました。11月
には米国大統領選の大勢判明とワクチン開発進
展の報道を受けて乱高下する局面があったもの
の、期を通じてみると、米ドルは対円で下落し
ました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投
資適格社債等を主要投資対象とします。
- ・当期においては、債券格付別では、BBB格相
当への多めの配分を維持しました。また、セク
ター別では業況が安定している金融セクターへ
の多めの配分を維持しました。

○今後の運用方針

- ・世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、
相応にボラティリティ（価格の変動性）が高ま
りやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいもの
と考えます。運用にあたっては、アグレッシブ
な財務戦略を展開する企業については留意し、
慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。ま
た、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上
で、割安で相対的に業況が安定していると判断
されるBBB格相当や金融セクターへの配分を
多めとする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、14,470円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 1,099	千アメリカドル 888 (200)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 21	百万円 21	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,050	7,945	827,253	96.7	—	57.2	32.1	7.5
合 計	7,050	7,945	827,253	96.7	—	57.2	32.1	7.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末				償還年月日
			額面金額	評価額		千円	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル			
特殊債券	2.48 EXPT-IMPT BA 211020	2.48	200	202	21,118	2021/10/20	
	3.875 INDONESIA E 240406	3.875	300	322	33,548	2024/4/6	
普通社債券	2.25 PSA TREASURY 300430	2.25	200	212	22,157	2030/4/30	
	2.503 RHB BANK 211006	2.503	200	202	21,104	2021/10/6	
	2.95 BDO UNIBANK 230306	2.95	300	313	32,687	2023/3/6	
	2.993 PTTEP TREAS 300115	2.993	200	212	22,127	2030/1/15	
	3.25 BOC AVIATION 250429	3.25	200	211	22,039	2025/4/29	
	3.375 TEMASEK FIN 420723	3.375	250	299	31,175	2042/7/23	
	3.5 THAI OIL TRSRY 491017	3.5	300	289	30,194	2049/10/17	
	4.25 GC TREASURY 220919	4.25	200	210	21,899	2022/9/19	
	4.25 OVERSEA-CHIN 240619	4.25	200	219	22,876	2024/6/19	
	4.25 PT PELABUHAN 250505	4.25	400	437	45,500	2025/5/5	
	4.4 SIAM COMMERC 290211	4.4	200	234	24,374	2029/2/11	
	4.5 PETRONAS CAPI 450318	4.5	200	270	28,119	2045/3/18	
	4.625 BANK RAKYAT 230720	4.625	200	215	22,437	2023/7/20	
	4.625 MINEJESA CA 300810	4.625	200	215	22,459	2030/8/10	
	4.875 PELABUHAN 241001	4.875	200	220	22,982	2024/10/1	
	4.875 THAI OIL TRS 430123	4.875	200	231	24,132	2043/1/23	
	5.125 PERUSAHAAN 240516	5.125	400	442	46,121	2024/5/16	
	5.375 PERUSAHAAN 290125	5.375	200	240	25,062	2029/1/25	
	5.45 INDONESIA AS 300515	5.45	200	239	24,979	2030/5/15	
	6 PERTAMINA PERSE 420503	6.0	200	256	26,654	2042/5/3	
	6.15 PERUSAHAAN 480521	6.15	200	263	27,446	2048/5/21	
	6.35 PTTEP CANADA 420612	6.35	200	289	30,098	2042/6/12	
	6.5 PERTAMINA PT 410527	6.5	200	270	28,164	2041/5/27	
	7.39 POWER SECTOR 241202	7.39	200	250	26,126	2024/12/2	
	7.625 PETROLIAM N 261015	7.625	100	136	14,242	2026/10/15	
	FRN BANGKOK BANK 340925	3.733	200	207	21,566	2034/9/25	
	FRN DBS GROUP HOL 281211	4.52	200	219	22,821	2028/12/11	
	FRN UNITED OVERSE 310316	1.75	400	401	41,755	2031/3/16	
	VAR MALAYAN BANKI 261029	3.905	200	204	21,275	2026/10/29	
合	計				827,253		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 827,253	% 96.7
コール・ローン等、その他	27,835	3.3
投資信託財産総額	855,088	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (841,665千円) の投資信託財産総額 (855,088千円) に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.12円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	855,088,749 円
コール・ローン等	21,860,506
公社債(評価額)	827,253,610
未収利息	5,766,552
前払費用	208,081
(B) 負債	9
未払利息	9
(C) 純資産総額(A-B)	855,088,740
元本	587,303,986
次期繰越損益金	267,784,754
(D) 受益権総口数	587,303,986口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,560円

<注記事項>

- ①期首元本額 601,522,932円
 期中追加設定元本額 2,722,941円
 期中一部解約元本額 16,941,887円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.4560円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUAM アセアン社債ファンド	407,087,050円
アセアン社債ファンド(毎月決算型)	180,216,936円
合計	587,303,986円

○損益の状況 (2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,195,168 円
受取利息	16,197,149
支払利息	△ 1,981
(B) 有価証券売買損益	6,428,972
売買益	31,454,934
売買損	△ 25,025,962
(C) 保管費用等	△ 93,208
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,530,932
(E) 前期繰越損益金	251,486,784
(F) 追加信託差損益金	1,277,059
(G) 解約差損益金	△ 7,510,021
(H) 計(D+E+F+G)	267,784,754
次期繰越損益金(H)	267,784,754

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

《第13期》決算日2020年12月15日

[計算期間：2020年6月16日～2020年12月15日]

「アセアン・ハイイールド社債マザーファンド」は、12月15日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりB-格相当以上の格付けを付与されているものに限ります。 デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率			
9期(2018年12月17日)	13,427	3.5	95.0	—	972
10期(2019年6月17日)	13,944	3.9	94.6	—	905
11期(2019年12月16日)	14,597	4.7	94.9	—	928
12期(2020年6月15日)	13,842	△5.2	93.3	—	877
13期(2020年12月15日)	14,614	5.6	91.3	—	885

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2020年6月15日	円 13,842	% 93.3	% —
6月末	14,040	1.4	93.3
7月末	13,747	△0.7	90.5
8月末	14,092	1.8	89.1
9月末	14,103	1.9	89.2
10月末	14,106	1.9	91.7
11月末	14,382	3.9	90.3
(期 末) 2020年12月15日	円 14,614	5.6	91.3

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変化要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことや、社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小して債券価格が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎アセアンハイイールド社債市況

- ・アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が上昇したものの、社債のスプレッドが縮小したことなどから上昇しました。
- ・米国では、期首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大や米中間味の悪化に対する懸念などから、米国金利は低下しました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）による平均インフレ目標の導入による期待インフレの上昇、世界的に堅調な株式市場や新型コロナウイルスワクチン開発進展の報道による投資家のリスクセンチメント改善を受け、米

国金利は上昇しました。期を通じてみると、米
国金利は上昇しました。

- ・社債のспレッドは、期首から2020年8月までFRBが社債買入の期限を延長したことなどを受けて、縮小基調を辿りました。9月以降は米国の追加経済対策の協議難航に対する懸念や社債市場の需給悪化などから、一時的にспレッドが拡大する局面があったものの、その後11月の米国大統領選の大勢判明とワクチン開発進展の報道を受けて、спレッドは再び縮小しました。期を通じてみると、社債のспレッドは縮小しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、米ドルは対円で下落しました。期首から2020年7月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係の悪化に対する懸念などから、米ドルは対円で軟調となりました。その後、9月中旬にかけて、米国における新型コロナウイルス新規感染者数増加の鈍化などを受けて米ドルは対円で上昇したものの、長期的な米ドル安を見込むポジションが積み上がる中、徐々に対円で軟調に推移しました。11月には米国大統領選の大勢判明とワクチン開発進展の報道を受けて乱高下する局面があったものの、期を通じてみると、米ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
- ・当期においては、債券格付別では、BB格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへの多めの配分を維持しました。

○今後の運用方針

- ・世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターおよび生活必需品セクターへの配分を多めとする方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.010	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
	(0)	(0.001)	
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、14,139円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 1,564	千アメリカドル 1,155 (737)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 33	百万円 24	% 72.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,600	7,770	809,032	91.3	81.6	41.9	44.7	4.7
合 計	7,600	7,770	809,032	91.3	81.6	41.9	44.7	4.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	普通社債券					
	4.25 MEGAWORLD CO 230417	4.25	200	208	21,682	2023/4/17
	4.25 PT ADARO IND 241031	4.25	250	259	26,973	2024/10/31
	4.375 JGSH PHILIP 230123	4.375	200	211	22,052	2023/1/23
	4.45 SAKA ENERGI 240505	4.45	200	194	20,200	2024/5/5
	4.5 FPC TREASURY 230416	4.5	200	207	21,604	2023/4/16
	4.75 INTERNATIONAL 300617	4.75	200	216	22,539	2030/6/17
	4.95 CHANDRA ASRI 241108	4.95	200	199	20,719	2024/11/8
	4.95 CIKARANG 260914	4.95	200	209	21,761	2026/9/14
	5 PAKUWON PRIMA 240214	5.0	200	205	21,344	2024/2/14
	5.125 AYC FINANCE 660313	5.125	200	204	21,323	2166/3/13
	5.5 GLOBAL PRIME 231018	5.5	400	404	42,144	2023/10/18
	6.375 MEDCO BELL 270130	6.375	200	206	21,448	2027/1/30
	6.5 JABABEKA INTE 231005	6.5	200	191	19,989	2023/10/5
	6.75 MEDCO PLATIN 250130	6.75	400	423	44,096	2025/1/30
	6.75 THETA CAPITA 261031	6.75	200	187	19,497	2026/10/31
	6.875 GOLDEN LEGA 240327	6.875	200	203	21,238	2024/3/27
	7 TBLA INTERNATIO 230124	7.0	400	403	42,060	2023/1/24
	7.25 SRI REJEKI I 250116	7.25	200	210	21,942	2025/1/16
	7.25 VLL INTERNAT 270720	7.25	700	725	75,532	2027/7/20
	7.75 BUKIT MAKMUR 220213	7.75	200	196	20,433	2022/2/13
	7.95 NAGACORP LTD 240706	7.95	200	208	21,682	2024/7/6
	8.25 INDIKA ENERGI 251022	8.25	250	271	28,282	2025/10/22
	9.375 NAGACORP LT 210521	9.375	200	203	21,222	2021/5/21
	FRN SMC GLOBAL PO 670725	6.5	400	407	42,376	2167/7/25
	FRN SMC GLOBAL PO 690421	7.0	200	204	21,334	2169/4/21
	VAR OLAM INTERNAT 491229	5.35	200	201	20,928	2049/12/29
	VAR PARKWAY PANTA 660127	4.25	200	202	21,080	2166/1/27
	VAR PETRON CORP 660719	4.6	200	192	20,014	2166/7/19
	VAR ROYAL CAPITAL 491229	4.875	400	409	42,585	2049/12/29
	VAR SMC GLOBAL PO 491229	6.75	200	201	20,938	2049/12/29
合	計				809,032	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 809,032	% 91.2
コール・ローン等、その他	77,812	8.8
投資信託財産総額	886,844	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (873,130千円) の投資信託財産総額 (886,844千円) に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=104.12円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	886,844,342
コール・ローン等	64,696,194
公社債(評価額)	809,032,486
未収利息	11,406,721
前払費用	1,708,941
(B) 負債	1,168,402
未払解約金	1,168,393
未払利息	9
(C) 純資産総額(A-B)	885,675,940
元本	606,031,051
次期繰越損益金	279,644,889
(D) 受益権総口数	606,031,051口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,614円

<注記事項>

- ①期首元本額 633,598,550円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 27,567,499円
また、1口当たり純資産額は、期末14,614円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUAM アセアン社債ファンド	420,168,805円
アセアン社債ファンド(毎月決算型)	185,862,246円
合計	606,031,051円

○損益の状況 (2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,116,231
受取利息	24,056,081
その他収益金	62,472
支払利息	△ 2,322
(B) 有価証券売買損益	23,841,689
売買益	52,407,546
売買損	△ 28,565,857
(C) 保管費用等	△ 89,058
(D) 当期損益金(A+B+C)	47,868,862
(E) 前期繰越損益金	243,424,230
(F) 解約差損益金	△ 11,648,203
(G) 計(D+E+F)	279,644,889
次期繰越損益金(G)	279,644,889

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。